

一般質問から

ハクビシン、アライグマ等による被害について



18番 寺原 一行

Q 被害相談と市の対応について

A ハクビシン及びアライグマの被害に関しては、自宅の屋根裏に住み着いている、家庭菜園の作物や屋外で飼育している魚が食べられた、などが寄せられています。

アライグマは特定外来生物に指定されていることから、市担当職員が「捕獲従事者養成研修会」を受講したうえで、箱罠を



用いて捕獲、駆除を実施しており、その数は令和6年度11月末現在で70頭となっています。

ハクビシン及びタヌキは「鳥獣保護法」で保護されているので、市では捕獲は行いません。

相談があった場合は狩猟免許をもった専門業者を紹介しています。疥癬症にかかっているタヌキだけは人をはじめ犬や猫に感染するおそれがあることから、市で保護しています。

子どもたちのためにより良い教育環境を目指して

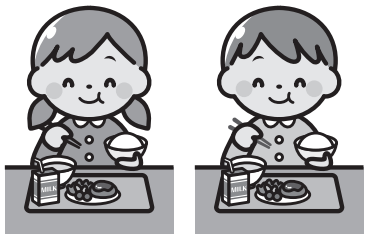


6番 小倉 聖彦

Q 給食の食中毒事故から4年以上経つが、当時と同じような給食が提供されています。

A 現在の学校給食を知っていただくために、市役所等で給食を提供することにつきまして、市役所等で給食を提供することはできないのか伺います。

給食の食中毒事故から4年以上経つが、当時と同じような給食が提供されています。給食の状態を知るためにも、市役所等で給食を提供することはできないのか伺います。



じて試食ができるようになっていきます。また、会場は市役所や学校等となっています。基本的には市内在住、在学、在勤の方で、5人以上のグループであれば受講及び試食ができます。

高齢者の移動支援について



14番 金子 壮一

Q 運転手不足の深刻化により、公共交通の維持が厳しさを増す一方で、地域の移動手段の確保が益々重要になっています。

A デマンド交通は、路線バスやコミュニティバスとは

そこで、多様な事業主体との連携により、持続可能な仕組みをつくり住民生活を支えるために、デマンド交通の導入に向けた協議状況について、伺います。

デマンド交通は、路線バスやコミュニティバスとは

異なり、運行方式、運行ダイヤ、発着地の自由な組み合わせにより、様々な運行形態があります。デマンド交通の導入の検討にあたり、これまで先進自治体からの聞き取り、デマンド交通事業者や市内の交通事業者等との協議を実施してきましたが、導入にあたっては、費用面だけでなく、既存のバス事業者やタクシー事業者の理解と協力が必要不可欠であることなどの課題があります。これらの状況を踏まえ、今後はデマンド交通に限らず、八潮市の地域性に合った公共交通の在り方について、検討していきます。

八潮市役所への公共交通機関の利便性向上とバスターミナルの環境整備について



5番 二木 和枝

Q 八潮市地域公共交通計画には「八潮駅、八潮市役所、草加駅を基軸とした多方面に行きやすいネットワークの構築」とあります。

A 令和8年度中のバスロータリーの整備完了に向け、市役所周辺に点在する八潮市役

所、八潮メセナ、八潮市役所東の4バス停を集約することに伴うバスルートの変更を検討しています。路線バス事業者の試走結果等を基に関係機関との協議を進めていきます。なお、バスロータリーは、乗車場3か所、降車場1か所を設置し、タクシー乗り場や椅子使用者用の駐車スペースを併設。屋根は、乗車場から市役所北側正面玄関まで整備。ベンチは、バス乗車場付近と市役所北側に整備する広場にも設置予定です。

将来の多額の財政需要への備えについて



13番 鈴木 貞夫

Q 決算剰余金を学校建設基金などの個別目的の基金に計画的かつ長期的に積み立てることについて伺います。

A 将来の財政需要を見据え、特定目的基金の計画的な積み立てを行うことは、重要な視点だと考えていますが、一方で、現在の本市は、全国の地方公共団体と同様に、公共施設やインフラ施設の整備・更新期を迎えており、今後も投資的経

費が高い水準で推移していくものと見込んでいますので、特定目的基金の計画的な積み立てを行うことが難しい状況にあるという考えも持っています。本市としては、ご指摘の、将来を見据えた特定目的基金への積み立てに加え、災害対応等の予期せぬ事態に備えた財政調整基金への積み立ての必要性など、本市を取り巻く状況を総合的に勘案しながら、引き続き、決算等のタイミングで、各基金にどう積み立てるべきかを、判断させていただきたいと考えています。

下水道について



1番 内田 亜希子

Q 下水道の目的は、都市の健全な発達・公衆衛生の向上・公共用水域の水質保全等です。

A 本市では、下水道事業の持続可能な経営を行うため、今後の下水道使用料収入の見通し、改築・更新の施設整備

費などを盛り込んだ中長期的な基本計画である「八潮市下水道事業経営戦略」を策定し、事業を進めているところです。今後、下水道使用者が将来にわたり、安全で快適な暮らしを維持していくために、次のことを計画的に進める必要があります。

- ・一般会計からの繰入金金の抑制
- ・使用料の安定的確保
- ・施設の改築・更新

これから、経費回収率向上や、収入の見通し、施設整備費を含めた事業展開などの見直しを進めていきます。

一般質問から

市内中小企業者の経営力強化を
後押しする施策について



7番
荒川 貴洋

Q 市内中小企業は、地域の活性化や雇用の確保に大きく貢献するなど、市民生活の向上と地域経済の発展に重要な役割を果たしています。しかし、近年の原材料費高騰や人手不足などにより、中小企業を取り巻く経営環境は厳しくなり、経営力の強化が求められています。そこで市内中小企業の健康経営推進について伺います。

A 「健康経営」による従業員の健康保持・増進の取組が、結果的に業績や企業価値を向上させるとされています。現在策定中である令和7年度を始期とする「第3次八潮市健康づくり行動計画」において、「健康経営の実践」を新たな取組として設定することとしているところです。市としては、健康経営という考え方について、市ホームページ等により広く普及啓発を図るとともに、関係部署とも連携し、健診受診率の向上やワークライフバランスの推進等、健康経営の実践を市内企業へ働きかけていきたいと考えています。

借上型市営住宅について



17番
鹿野 泰司

Q 現行アクションプラン見直し版は、公営住宅の指針として「鶴ヶ曽根住宅および宮田団地2号棟から4号棟までは、廃止し民間住宅の活用等により公営住宅として適切な戸数を確保します」としています。これまでの取組及び課題・改善策について伺います。

A 同指針に基づき、鶴ヶ曽根住宅にお住まいの方に対し、借上住宅への住み替えにつ

いての周知とともに、住替えに必要な経費の算定をするための調査を実施してきました。借上住宅募集については、今年度、募集内容を一部変更して再募集の結果、11戸の借上住宅を確保できました。鶴ヶ曽根住宅については自主退去等も含め、全入居者の住み替えが今年度内に完了する予定となっています。本取り組みを通じ、賃貸住宅の所有者が応募しやすい内容を検討するとともに、継続的に借上型市営住宅制度の周知活動に努めていきたいと考えています。

年収103万円の壁について



15番
篠原 亮太

Q 103万円の壁については連日ニュースに取り上げられ、各自治体からは様々な声があります。昨今の経済状況から私は基礎税額控除の引き上げが必要ですと考えていますが、本市においては減収が見込まれ、予算編成などは非常に厳しくなると認識しています。本市の状況について伺います。

A 政府は、税に関する基礎控除が75万円引上げとなっ

た場合の税収に対する影響額を試算し公表したものと承知しています。国と同様の試算に基づき本市の課税状況をもとにお答えしますと、約20億円の減収が想定されます。普通交付税の算定上その75%にあたる約15億円の基準財政収入額が減少することになるので、需要額を収入額が約7億円下回ることになり、当該額が普通交付税として交付されることとなります。本市においては様々な面に影響が生じるものとして認識していますが、引き続き政府の動向を注視し、適切に対応していきます。

いわゆる「朝の小1の壁」
問題について



10番
池谷 正

Q 小学校に入学すると保育所よりも登校時間が遅くなり、子どもを自宅に残して保護者が先に出勤せざるを得ないという「朝の小1の壁」問題がクローズアップされています。就学前の保育所では朝の7時頃から子どもを預け、出勤していたのに、学校に入学したとたんに登校時間が遅くなり、「空白の時間」が生じて共働き家庭を悩ませています。大阪府豊中市では朝7時から学校を開き見

A 本市としては、豊中市のような取り組みを導入する予定は現時点ではありませんが、今後、いわゆる「朝の小1の壁」問題につきまして、小学校の登校時間や教職員の勤務時間も関係していますので、学校を取り巻く社会環境の変化や地域の実態を踏まえ、校長会とも連携しながら適切に情報を収集していきたいと考えています。

北部の小中学校について



11番
川井 貴志

Q 八條中学校、八條北小学校の複式学級、統廃合の可能性についての話がありました。が、現在の状況と今後の対応についてお聞かせください。

A 本年5月に新たに児童生徒数の将来推計を行ったところ、八條小学校、八條北小学校、八條中学校では、当初の計画で見込んだ児童生徒数より減少する見込みとなったことから、複式学級、統廃合の可能性を含

む学校のあり方を含めて、北部地区の個別計画の策定を進めているところです。この個別計画の策定にあたり、町会自治会の役員の皆様や、3校へ通う児童生徒の保護者に加え、学校運営協議会の委員など、関係する地域の方々への説明を行ってご意見を伺い、併せて八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会において、協議を行っているところです。今後は、これらのご意見を踏まえ、北部地区の教育環境や望ましい配置・学校のあり方などについて更に検討を進めていきたいと考えています。

●令和7年第1回定例会（3月）の日程（案）●

2月27日（木）	本会議 LIVE 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上程及び提案理由の説明など
3月7日（金）	本会議 LIVE 総括質疑（議案に対する質疑）、議案の委員会付託
10日（月）	総務文教常任委員会
11日（火）	建設水道常任委員会
12日（水）	福祉環境常任委員会
13日（木）	本会議（一般質問） LIVE
17日（月）	本会議（一般質問） LIVE
18日（火）	本会議（一般質問） LIVE
19日（水）	本会議 LIVE 委員会報告、質疑、討論、採決など、閉会

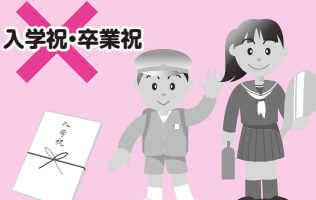
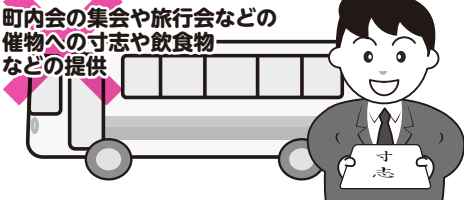
※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。
LIVE…ライブ配信日。詳しくは1面をご覧ください。

みんなで守る選挙のルール

政治家の寄附は禁止! 有権者が政治家に寄附を求めることも禁止!

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは**法律で禁止**されています。
また、有権者が政治家に対して寄附を求めることも**法律で禁止**されています。

例えば、このようなことは禁止されています



政治家は贈らない
有権者は求めない

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、令和6年度八潮市一般会計補正予算(第7号)の分割付託1議案、その他6議案のあわせて7議案の審査を行いました。
令和6年度八潮市一般会計補正予算(第7号)について、「小学校管理事業の光熱水費860万円の増額理由と光熱水費を抑えるために行っていることについて説明を」との質疑に対し、「小学校の光熱水費については、最も大きな要素としては、電気代が上昇したことである。電気使用量については、本年の4月から9月までで約97万キロワット、昨年は約95万キロワットであり、昨年に比べ若干の上昇となっているが、想定範囲内ではあった。一方で、国の電気代補助措置が一時終了したこと、補助額が減少したこと等の影響により、使用量に対して電気代の請求額が増えたため、増額の補正を行ったものである。」
光熱水費を抑える取組として、今夏も酷暑によりエアコンを使用する機会が多かったが、学校において例えば屋上に打ち水を実施するなど、各学校において創意工夫をしている状況であり、児童・生徒の安全を守るために一定量の光熱水費の支出は必要不可欠であると考えている」との答弁がありました。
また、工事請負契約の締結について、「仮契約書を見ると、工事の期間は令和7年10月31日

までとなっており、対象は体育館空調設備未設置の4つの小学校になると思われる。
例年のように5、6月頃から暑くなることが予測されるが、工事の進捗状況によって期間が早くなる可能性はあるのか伺う」との質疑に対し、「工事の期間について、体育館の空調設備設置の本体工事にあたっては、体育館内を一定期間占有して作業を行う必要がある。そのようなことから、学校の夏休み期間中をまとまった工事の実施期間と想定しているため、期間については今年度と同様の10月末となる見込みである。夏休み期間までの間に、コンクリートの土台設置や室外機の設置作業を先行して行っていく予定である」との答弁がありました。

議案の審査結果については、7議案すべて可決すべきものと決しました。



建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、令和6年度八潮市一般会計補正予算(第7号)の分割付託1議案、その他8議案のあわ

せて9議案の審査を行いました。
令和6年度八潮市一般会計補正予算(第7号)の道路維持管理業務委託料について、「維持管理を行っている範囲とパトロールの実施時間について伺う」との質疑に対し、「維持管理の範囲は市内全域とし、道路の穴や異常等を発見して常時良好な状態に保てるよう管理している。パトロールの実施時間は、月曜日から金曜日までの平日5日間で、時間は8時30分から17時まで行っている。また、一週間で市内全域を回れるようスケジュールを組んでいる」との答弁がありました。

また、令和6年度八潮市公共下水道事業会計補正予算(第2号)の水洗化促進委託料について、「委託料の内容と水洗化率について伺う」との質疑に対し、「汚水管渠築造工事に伴い、新たに下水道が使用できる方に対し、受益者負担金の説明、下水道への接続の説明を行っている。また、私道に関しては、関係している皆様の同意がないと管が入れられない旨の説明を行っている。」

また、水洗化率については、令和5年度が91.4%、令和4年度が92.1%である。水洗化率が下がる要因としては、汚水管渠を整備すると下水道を使える人が増加するが、切り替えがすぐにできないことから、使用できない人が一時的に増加するためである。しかし、令和4年度から令和5年度にかけて、使用者は1千人ほど増加している」との答弁がありました。

委員会のうごき

（7面から 続く）

議案の審査結果については、9 議案すべて可決すべきものと決しました。



福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、令和 6 年度八潮市一般会計補正予算（第 7 号）の分割付託 1 議案、その他 6 議案のあわせて 7 議案の審査を行いました。

また、請願第 6 号「重度心身障害者医療費助成制度の拡大についての請願書」の審査を行いました。

請願について審査した中で、意見として、「請願に賛成の立場で討論いたします。八潮市でも精神障害者保健福祉手帳 2 級の方が多くいらっしゃいます。病気の治療には、長い時間がかかることもあり、多くの方は、その障がいを抱えながら生活がされています。

また、請願理由にもあるように、親の高齢化による不安もあります。住み慣れた町で、安心、安定して生活できるように本請願に賛成し、討論いたします」

との発言がありました。会議に諮ったところ、採択すべきものと決しました。

また、議案審査において、令和 6 年度八潮市一般会計補正予算（第 7 号）については、「12 月 2 日からはじまったマイナンバーカードの特急発行について、最短で何日間で発行できますか」との質疑に対し、「新たに出生された方や現在のマイナンバーカードを紛失された方など、特に速やかな交付が必要となる方を対象として特急発行制度が開始されました。発行期間については、原則 7 日間となります」との答弁がありました。



また、「介護保険サービス利用者負担補助金の増額理由について教えてください」との質疑に対し、「介護保険サービス利用者負担補助金は、低所得の介護サービス利用者に対する市の単独事業です。市民税の非課税世帯の利用者負担額の一部を補助するという制度であり、利用件数の増加により増額補正したものです」との答弁がありました。

議案の審査結果については、7 議案すべて可決すべきものと決しました。

陳情

■臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

陳情者住所 東京都新宿区

陳情者 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会

代表 丸山 治章

傍聴のご案内

本会議および委員会は、どなたでも傍聴することができます。市議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ傍聴にお越しください。なお、定例会は年 4 回開かれます。

やしお市議会だよりメール配信のお知らせ

やしお市議会だよりの発行にあわせて、市の情報配信サービス「やしお 840 メール」を配信しています。昨年 12 月からは市公式 LINE の運用が始まりました。

また、840 メール配信サービスのリニューアルに伴い、送信元のメールアドレスが変更になります。

※令和 6 年 12 月 1 日以前のご登録情報は新システムへ移行したため、再登録の必要はありません。

やしお 840 メールや LINE は、パソコンや携帯電話で受信できますが、利用するには登録が必要です。市のホームページまたは下の二次元コードよりアクセスしてご登録ください。

空メール画面になるので、何か一文字入れて送信してください。



ぜひ、ご登録ください。



市公式 LINE 友だちに登録してください。



ペーパーレス会議システムを導入しました

市議会では、効率的で円滑な議会の運営とペーパーレスの推進を図るため、令和 6 年第 4 回定例会より、タブレット端末を用いたペーパーレス会議システムを導入しました。議案資料等を電子化したものをタブレット端末に取り込み、本会議・常任委員会等において各議員が審議を行いました。令和 6 年第 4 回定例会では、紙と電子の併用として試験運用しましたが、令和 7 年第 1 回定例会から予算書など印刷製本されたものを除き、電子データのための本格運用を予定しています。



議会報編集委員会



（委員長） 鈴木 貞夫
（副委員長） 荒川 貴洋
（委員） 小宮 弘子
大島 愛音
福野未知留
前原 鮎美
前田 貞子

編集後記

議会報編集委員会から

今議会では「令和 6 年度八潮市一般会計補正予算（第 7 号）」を含む全 22 議案が可決承認されました。

今議会からはタブレット端末の活用が始まりました。これにより、議案資料や委員会資料のペーパーレス化が進み、効率的な議会運営が期待されています。また、今年度は議会ライブ中継も開始され八潮市議会での ICT 化が大きく進展しました。さらに、議会だよりでも議員の顔写真が掲載されるようになり、より親しみやすい紙面となりました。

上程される議案はすべて市民生活に直結するため、これからも開かれた議会を目指し、市民の皆様からのご意見やご要望を大切にしっかりと市政に反映してまいります。

（前原鮎美）